



# 来年度の自主事業企画

各部会で着々と準備進む

## 新企画も立ち上げを予定

自主事業は例年5月に開催される総会において正式に決定されます。このため事業内容の発表は総会終了後に行われるのが通例でしたが、これでは情報の発信があまりに遅くなるため、協会会員向けに現在準備が進められている企画内容の予定を本通信で発表することにしました。但し、内容はあくまで正式決定前の予定であることをご理解願います。

### 【音楽部会】 音楽部会の来年度

予定はBest Hit All fee 2018春ノ巻を6月9日、午後6時開演予定で準備しています。ご承知の通り日本の音楽シーンを代表するバンドであり、ライブの動員数が最も多いグループに数えられ、通算ライブ本数が2600を超える驚異的な数字を記録、不動の人気を確立しているアーチストです。



## 飛生芸術祭2017

9月9日



飛生の森では現代舞踊の公演

前号1面の企画で紹介した白老町の飛生アートコミュニティー。廃校活用の先駆けとしてスタートした同コミュニティーの芸術祭が9月に開催されましたが、その目玉となる事業「トビウキャンプ」を視察してきました。

キャンプは9、10の両日に開かれ、牧草地らしき広大な土地に特設された駐車場は、我々が

祭期間中を通して約2500人あつたそうです。その規模は当初予想していた比ではなく、会場のにぎわいには圧倒され、発表を上回る来訪者があつたので

はないかと思うほどでした。

飛生の森では現代舞踊の公演が行われていたり、森を巡る遊

は

連れなど活気に溢れるワクワク感が会場一杯に漂っている感じ

は圧巻です。

旧グラウンドと思われる場所には洒落た露店が立ち並び、飲食はもとよりアジアンテーストの雑貨店やマツサージ店、しまいには人生相談や占い店まで、何でもありのドタバタ感にはたまらない魅力を感じました。

旧校舎の展示スペースには、現代アートの世界的画家、奈良美智個展が開かれており、入場待ちの行列ができる賑わいぶりがいたり、自由な感覚は息苦しめしませる成功例があることへの驚きを感じた視察でした。そ

の鍵がどこにあるのか、道内市

町の各教育委員会が複数視察に

来ていましたよ。（小川）

くらいい・まさる）、アコースティックギターの坂崎幸之助（さかざき・こうのすけ）、エレキギターの高見沢俊彦（たかみざわ・としひこ）の3人。1973年明治学院大学ギャンパスにて知り

50作品連続ベスト10入りを果たすなど、ヒットメーカーとして

ル「夏しぐれ」でデビュー、10年目にリリースしたシングル「メ

リーアン」が大ヒットし、現在

内最大規模の写真公募展として

知られる「写真道展」は、題材

が自由の第1部、観光・産業を

題材にする第2部、ネイチャーフォトの第3部からなり、いず

れもレベルの高い作品が寄せら

れます。

応募総数（2017年度）は

一般の部で5409点で、入選・

入賞が270点。学生の部では

総数が1140点、入選・入賞

が60点となっています。

伊達巡回展での展示作品数は

300点を超え、全道各地から

方次第を痛感しました。

地方都市でここまで芸術祭を



色とりどりの露店が並ぶ会場

## 伊達メセナ協会の受賞が内定

### 市民メセナ活動が評価される

地域の発展、まち興しに尽力している個人や団体をたたえ顕彰する室蘭民報社の「第3回まち・ひと活力大賞」に伊達メセナ協会の受賞が内定しました。

表彰式は来年1月に行われる同

紙の「新春の集い」の席上を行われ、岩本顧問と太田会長が協会を代表し、表彰を受けます。

受賞理由は「20年以上にわたる市民が主体となつたメセナ活動が、地域の活力醸成につながっている」と高く評価されました。第1回の受賞者は写真家の山口一彦さん、第2回がふくろう文庫代表の山下敏明さん。

実は二人とも以前の自主事業として特集を組み概略の説明をしましたが、限られた紙面では意外に知らないホールの音響」をテーマにした講演と、ジャズライブを組み合わせました。

「残響」については会員通信の3号で特集を組み概略の説明をしましたが、限られた紙面では説明しきれないことが多々ありました。そういう意味で専門家を招き、講演してもらうのが良いだろう、と企画したのが

楽しい成功がもてました。また、その写真がネットで公開されれば、良いPRになり一石二鳥の効果があります。物事考え

の驚きを感じた視察でした。その鍵がどこにあるのか、道内市町の各教育委員会が複数視察に来ていましたよ。（小川）

高い人気を誇るバンドです。チケットは前売り7560円を予定、当然会員先行販売も行いますのでお楽しみに。

【展示部会】 展示部会は第65回巡回展を予定しています。日程は2019年2月初旬から月中旬の開催を予定し、現在調整中です。入場料は無料で大ホールでの展示します。

デジカメの普及により身近になつた「写真」は、年々愛好者が増えています。そんな中、道

内最大規模の写真公募展として知られる「写真道展」は、題材が自由の第1部、観光・産業を題材にする第2部、ネイチャーフォトの第3部からなり、いずれもレベルの高い作品が寄せら

れます。

芝居に取り組む風間杜夫、一昨

年は下町の銭湯を舞台に、日本人が歩んだ大正、昭和、平成の

3時代をスーパー老人・大角卯三郎役で熱演しました。今回は

芝居をスープで熱演しました。今回は

芝居をスープで熱演しました。今回は